

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(令和元年 9月30日)

事業コード	R元-建-継-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	由利本荘市鳥海町矢ノ本		担当者名	副主幹(兼) 班長 渡部 寿
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H25~R2(8年)	総事業費	14.0億円	国庫補助率	71.40	
事業規模	○延長L=1,500m、幅員W=6.5(9.5, 12.0)m((2.50+1.50+3.25+3.25+1.50)m ※一部歩道有り)					
事業の立案に至る背景	○一般国道108号は宮城県石巻市を起点とし秋田県由利本荘市へ至るルートで、日本海側と太平洋側を横断的に結び、産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。当該区間は第二次緊急輸送道路として位置付けられているほか、病院等へのアクセス道路としての機能も有しているが、幅員狭小で最急勾配も6%ときつ、H16年には死亡事故が発生しており安全確保が求められている。 ○道路利用者の安全と、第二次緊急輸送路としての機能を確保するため、早急に整備を行う必要がある。					
事業目的	○大型車のすれ違い困難箇所の解消 ○第二次緊急輸送路としての機能確保 ○現道拡幅及びバイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ○通過交通の分離を図り、現道の歩行者、自転車利用者の安全を確保					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		1,300,000	1,398,000	98,000	
	経費内訳	工事費	849,000	1,050,900	201,900	発生材を利用するため土質改良が必要となった事による増 下水道の減耗補償確定による減 委託費の精算見込みによる
		用補費	315,000	233,500	▲81,500	
		その他	136,000	113,600	▲22,400	
	財源内訳	国庫補助	850,850	998,172	147,322	
		県債	404,200	359,800	▲44,400	
その他						
一般財源		44,950	40,028	▲4,922		
事業内容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工		国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	○平成30年度末で事業進捗率78%(用地進捗率は100%)。					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○由利本荘市総合計画					
情勢の変化及び長期継続の理由	○特になし					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	93.9%	データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	93.9%	把握の時期	平成31年 4月		
達成率 b/a	100.0%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当該区間は幅員狭小 (最小車道幅員 5 m) 及び線形不良 (最小曲線半径 9.5 m) で、最急勾配も 6 % となっており、事故が発生している。 また、冬期堆雪帯がなく、1 年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○通学路指定区間であるが、歩道が未整備の区間があり、車道を歩かざるを得ない。 ○平成 16 年度には死亡事故が発生している。 	13 点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 23 年には土砂崩落により、全面通行止めとなり、広域迂回を余儀なくされている。現道の一部には急傾斜地崩壊危険箇所があり、災害の危険性を回避するため、早期のバイパス整備が望まれる。 	15 点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○第二次緊急輸送道路であり、災害時の避難救助活動や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画上重要な幹線道路である。 ○鳥海国定公園等への広域観光道路としての活用が見込まれる。 	28 点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は 1.72 であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 26.9 億円 ・総費用の現在価値 15.6 億円 ○脆弱な発生土をバッキして盛土材に流用することで購入土を減らしコスト縮減を図っている。 	20 点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 30 年度末の事業進捗率は 78 % である。 	18 点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III)	94 点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R元一建一継一03)
 箇所名 (由利本荘市鳥海町矢ノ本)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	4箇所	・車道幅員5.0m ・最小半径95m ・最急勾配6% ・冬期耐雪幅なし
		2箇所	5			
		1箇所	3			
		該当箇所なし	0			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 ≤ 30 km/h ・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	3項目該当	7	5	2項目	・通学路指定歩道なし ・重大事故 (H16死亡事故)
		2項目該当	5			
		1項目該当	3			
		該当項目なし	0			
	計			15	13	
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	由利本荘市総合計画	
		なし	0			
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	5	5	急傾斜地崩壊危険箇所	
		なし	0			
	同一路線の整備状況	整備済み	5	5		
		未整備	0			
	計			15	15	
	有効性	道路の位置づけ				
緊急輸送道路		第1次輸送道路	8	6	第2次緊急輸送道路	
		第2次輸送道路	6			
		第3次輸送道路	4			
		指定なし	0			
救急医療施設へのアクセス		アクセス性向上に大きく貢献	7	7	由利組合病院	
		アクセス性向上に貢献	5			
		アクセス性向上への貢献が小さい	3			
観光・産業の活性化		活性化に大きく貢献	7	7	鳥海山・飛島日本ジオパーク	
		活性化に貢献	5			
	活性化への貢献が小さい	3				
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	・日本海沿岸東北自動車道 象潟～金浦間H27供用 ・H28「鳥海山・飛島」 日本ジオパーク認定		
	必要性に変化はない	6				
	必要性が低い	4				
	必要性が著しく低下	0				
計			30	28		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.72	
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5	5,800台/日	
		1,000台/日以上～5,000台/日未満	3			
		1,000台/日未満	0			
	コスト削減	あり	5	5	発生土を盛土材として利用	
なし		0				
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	大規模バイパス		
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
計			20	20		
熟度	事業の進捗状況					
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	8	78%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	100%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
	計			20	18	
合計			100	94		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		